

(様式2)

※この様式は、あくまで記載する項目を示したものであり、様式は任意です。

## 海外研修視察報告書

平成 30年 6月 28日

長崎県議会議長 様

小林 克敏

海外研修視察を実施しましたので、つぎのとおり報告いたします。

- 1 日程  
2018年6月5日から8日
- 2 訪問国  
ベトナム
- 3 調査目的（申請時に記載された調査目的）  
農業人材関係調査  
オリンピックキャンプ関係調査  
文化交流関係調査
- 4 調査事項（申請時に記載された調査事項）  
大学幹部との意見交換  
スポーツ庁幹部との意見交換  
研究所幹部との意見交換
- 5 調査結果（別紙により作成）
- 6 調査により得られた成果及び県政への反映方策  
（別紙により作成）

※ 調査結果（別紙）は以下の内容を調査箇所ごとに記載  
・日時、応対者、調査事項、調査内容、調査の成果、所感

## Ha Noi (Viet Nam) 訪問レポート

平成30年6月5日より6月8日までの正味2日半の行程で、長崎県庁職員農林部より2名、スポーツ振興課より2名、福祉施設理事1名、アテンダー1名の計7名でベトナム社会主義共和国首都ハノイを訪問し協議を行った。協議の内容は下記の通りである。

訪問日 2018年 6月 5日～ 6月 8日  
訪問先 ① ベトナム国立農業大学  
② 文化スポーツ観光省 スポーツ総局  
③ ベトナム国際友好協会  
④ 文化スポーツ観光省 ベトナム民族文化研究学院

(1) ベトナム国立農業大学 (6月5日 16:00より)

出席者

Dr. NGUYEN THI LAN (学長 第14期国会議員)

Dr. TRAN DUC VIEN (大学顧問)

Dr. VU NGOC HUYEN (人材開発・提供センター長)

他職員



(協議事項)

- ・長崎県が国に申請している農業特区などの進捗状況や今後の対応について説明し、長崎県としてはベトナム国立農業大学との関係を大切にする旨の発言があった。勿論大学側も同様の意識である。
- ・相互の意見交換を行った。そこで下記の依頼事項などを伺った。

(依頼事項)

- ・7月16日より7月20日まで、学長はじめ大学幹部、それにベトナム農業農村開発省の部長などが中村法道知事への表敬訪問及び施設などの視察を希望。

(その他)

- ・夜には大学主催の歓迎会を開催して頂いた。

(2) ベトナム文化スポーツ省 スポーツ総局 (6月6日 9:00より)

(出席者)

Dr. TRAN DUC PHAN (スポーツ総局副長官)

Dr. NGUYEN KIM LAN (副局長)

Ms. LUYEN THI HONG HANH (国際協力部)

他職員



・(協議事項)

- ・予てより予定されている2020年東京オリンピック選手団のキャンプ地受け入れについて詳細協議を行った。  
種目は 陸上・競泳・フェンシング・空手・柔道・バドミントンの6競技である。
- ・非常にスムーズに協議は進み、事前に提案されたベトナム側の計画要請に基づき、長崎県の考え方を踏まえてのすり合わせの協議を行った。

- ・結果、2019年、2020年に6競技選手団の派遣、そして受け入れが決定した。

(3) ベトナム国際友好協会 (6月7日 9:00～)

(出席者)

Dr. BUI KHAC SON (副長官)

他職員

(協議事項)

- ・各国との経済文化活動を実施している。
- ・今後イベント開催なども実施する。
- ・日本との更なる交流を深めたい。



(4) ベトナム文化スポーツ観光省 ベトナム民族文化研究学院

(6月7日 14:00)

出席者

Dr. NGUYEN DANH NGA (会長)

Ms. NGO THI BICH HANH (副会長)

他職員

(協議事項)

- ・文化・メディア研究所の位置づけ
- ・今後の連携協議の必要性

(要望事項)

- ・6月23日にハロン湾で国際シンポジウムを開催予定である旨  
このシンポジウムには中国・韓国などの参加があり、ベトナムからは企業も150社が参加する。長崎県も参加して欲しい旨の要請があった。しかし県議会の最中であり出席はお断りした。  
このシンポジウムに長崎県からメッセージを頂きたい旨要請あり。
- ・このイベントには外交官や主たるメディアが出席する。
- ・6月11日～15日、ハノイで農業展覧会が開かれる。  
民民族文化研究院、農村農業開発省、それに農業関係者で行うそうだ。
- ・長崎県農林部より担当を選任して、今後民族文化学院との連携を希求する。

今回の訪問は長崎県が目的とする事項が具体的に決定し、この決定事項を始めとして、今後長崎県とベトナム社会主義共和国との文化交流が益々進展する兆しを感じて参りました。

以上

平成30年 6月28日

報告者

林克敏